

## 渡辺よしお通信

2009年 秋季号 No.9

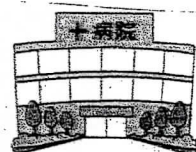
発行 新発田市議会議員 渡辺喜夫 新発田市西名柄(下名柄) 3129 電話 22-6724 FAX 22-6730

皆様には、いつもご支援をいただき大変お世話になっております。この度の衆議院選挙において真心からの献身的なご支援、誠にありがとうございました。

公明党は大逆風の中、比例区において805万票をいただくことが出来ました。また北信越ブロック選出の地元・漆原良夫議員も皆様のお力で議席を死守させて頂きました。本当にありがとうございました。しかしながら小選挙区においては、皆様のご期待にお答えできず、大変残念な結果となりました。私自身、捲土重来を期し、次の戦いには必ず勝利できるよう一生懸命頑張っただけですので、今後ともご指導ご鞭撻を、よろしくお願い申し上げます。

## 新発田市議会報告

\*9月定例会に於いて「女性の健康支援の拡充対策」で特定の年齢に達した女性に対し、子宮頸がん、乳がん検診の費用を全額助成する事が決定！ <詳しくは裏面を参照>



\*一般質問の要旨(9月9日1番目)

・新型インフルエンザの本格流行と新発田市の取り組みについて

Q:(渡辺) 高齢者の多い介護、福祉施設での集団感染を防ぐ対策は万全か

A:(市長) それぞれの施設では対策会議を開催し、感染防止マニュアルに沿って施設入り口に消毒薬等の設置でウイルスを施設内に入れない、入所者、利用者等の健康状態を常に管理し感染予防及び感染拡大防止に努めております。

Q:(渡辺) 学校現場での予防策や流行が起きた際の取り組みはどうするのか

A:(教育長) 日常生活での手洗い・うがいの励行、家庭における体温測定等健康観察の実施。症状がある場合は早期の医療機関への受診と無理な登校を慎む事。学級閉鎖の基準を欠席率10%程度、閉鎖期間は4日間を目安としております。

・市内の学校現場での動物飼育活動の現状について

Q:(渡辺) 新学習指導要綱の中に継続的な動物飼育活動の意義が強調されています。教科書等の教材をとしただけでは「生命」を実感させる事は出来ない。動物飼育の体験を通し動物の成長或は死によって生命を実感します。現状と取り組みについて伺う。

A:(教育長) 動物飼育する事は教育効果が期待でき意義深いものである。現在市内の小学校ではウサギを飼育している学校は8校、鶏は4校、ヤギは2校また、多くの学校では小動物を飼育しております。今年度は獣医の先生を講師に研修会を開いた。来年度も継続的に動物飼育研修会を開催し、担当者だけではなく管理職にも参加してもらい全校的な視野で考えてまいりたい。

